

事務局提出資料

《資料1》第1回WGでのご意見	…2頁
《資料2》診療科のローテート状況等	
資料2-1:新臨床研修制度下のローテート状況	…3頁
資料2-2:研修プログラムごとの内定者の状況	…4頁
資料2-3:診療科の履修状況と評価	…5頁
資料2-4:地域保健・医療研修の評価	…6頁
《資料3》臨床研修制度導入による総合的診療能力の変化	…7頁
《資料4》研修医の進路や研修の場	
資料4-1:将来希望する診療科の変化	…8頁
資料4-2:勤務する病院等の種別	…19頁
資料4-3:医局への入局・学位の取得状況	…21頁

第1回WG(7月4日)でのご意見

資料1

1 研修プログラムの履修状況について

- 地域医療研修の内容、実態(都心の研修病院で地域医療研修を実施しているケースがある)を調べて欲しい。【神野委員】
- 統計データでは把握しきれない部分について、研修医への個別の聞き取り調査が必要。大学院教育と臨床研修との関係も議論が必要。学問としての医学教育は臨床研修にとってマイナスではない。【岡部委員】
- 修了者アンケートについては、21年度の制度見直し後の研修医の状況は反映されていない。【神野委員、田中委員】

2 臨床研修病院の実施体制について

- 資料にあるデータは、受入実績、募集定員等制度の枠組みに関するものがほとんどであるが、未修了の研修医や中断者等に係る成果実績に関するデータを示していただきたい。【大滝委員】
- 受入実績などは、基幹型病院で受け入れても研修プログラムによって協力型病院で一定の期間研修を行うことから、必ずしも実態を示していないので、基幹型病院、協力型病院別に、研修期間を把握する必要。それぞれの研修期間によって、研修医の満足度も変わってくるものと思われる。【今村委員、片岡委員】
- 海外での臨床研修制度の実態を把握する手法を収集すべき。欧米では臨床研修制度の見直しを行っているところであり参考となるもの。【大滝委員、岡留委員】

3 臨床研修制度導入が地域医療に与えた影響について

- 帰学率について、全国医学部長病院長会議で取りまとめた資料をWGで発表してはどうか。【岡留委員】

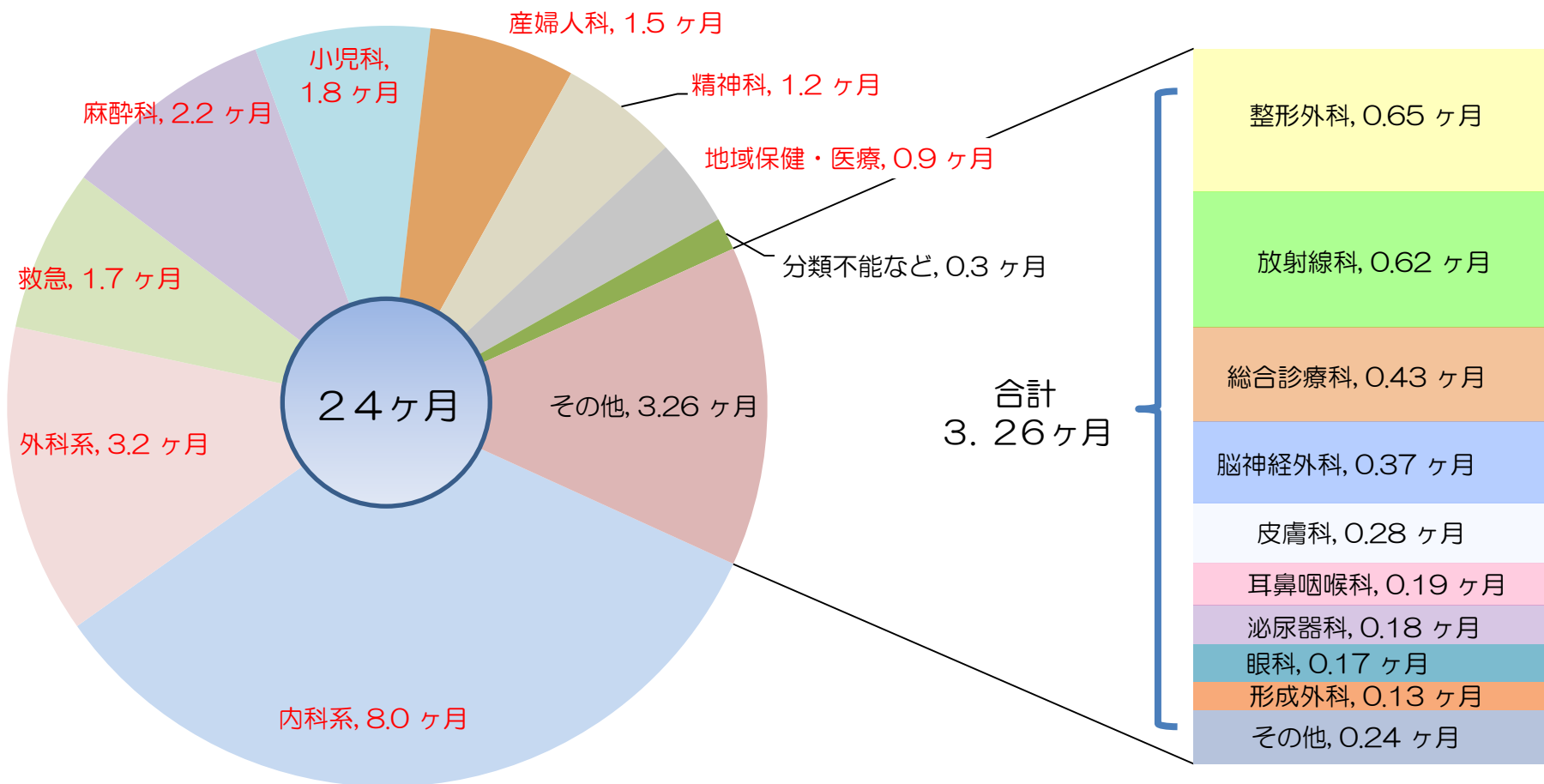
4 その他

- 研修医にも臨床研修病院にも負担が少なくなるようEPOCを改良することは必要。EPOCを活用していない40%の研修病院では、どのような評価の方法をとっているのかなど実態を把握する必要。【大滝委員】
- 各種データを公開して、いろいろな人に分析してもらうのが良いのではないか。【大滝委員】
- 国民目線の議論をするべき。【堀田委員、岡留委員】
- 臨床研修教育は、卒前・専門医とも一体で考えなくてはいけない。【今村委員、岡留委員】

新臨床研修制度下のローテーション状況

資料2-1

○必修診療科(赤字)以外の診療科では、整形外科・放射線科などで研修医が多くローテーションしている。



・上段の円グラフ/表は、2年間に於ける各診療科の研修医の平均ローテーション月数を示す(各診療科のローテーション総月数÷全研修医数)
 平成22年臨床研修修了者アンケート調査より (厚生労働省医政局医事課臨床研修推進室 調べ)
 →臨床研修を平成22年3月に修了する全国の研修医を対象に、同年3月に調査。{回収数/対象数=5250/7512(69.9%)}

研修プログラムごとの内定者の状況 (平成22年度研修医マッチング)

資料2-2



マッチング協議会より提供

診療科の履修状況と評価の比較

資料2-3

○新制度により、必修化された診療科のいずれについても、旧制度で研修した医師の評価と比較して評価水準はそれほど大きく下がっていない。

		内科	外科	小児科	産婦人科	精神科	麻酔科	救急
新制度 (693人)	選択割合	100.0%	99.0%	98.4%	98.6%	98.3%	95.4%	83.1%
	(※) 平均点	4.33	4.10	3.71	3.41	3.26	4.19	4.17
旧制度 (530人)	選択割合	56.0%	29.2%	32.6%	15.5%	10.0%	54.5%	45.7%
	(※) 平均点	4.45	4.14	4.03	3.97	3.70	4.28	4.21

※・・・「新制度(平成16～平成19年卒)および旧制度(平成13～15年卒)で臨床研修を実施」した各医師を対象として、以下のとおり質問
設問) 各診療科における臨床研修が「現在までに役に立ったか」
選択肢) 「1点)全く役立たなかった～2点)役立たなかった～3点)どちらとも言えない～4点)役立った～5点)大いに役立った」

平成22年度厚生労働科学研究「初期臨床研修制度の評価のあり方に関する研究」(研究代表者:桐野高明国立国際医療研究センター
総長)の結果を研究代表者から提供

地域保健・医療研修の評価

資料2-4

○地域保健・医療研修については、保健所に比べ診療所・病院で研修した方が評価が高い傾向にある。

	全体※1	診療所	病院	保健所	その他	複数※2	無記入
回答数	638	72	102	94	64	144	162
平均点	3.18	3.72	3.53	2.69	2.84	3.19	3.11

※1・・・新制度下で臨床研修して、かつ「地域保健・医療」の「評価」について記入した医師638人を対象に解析

※2・・・2つ以上の複数の施設における研修

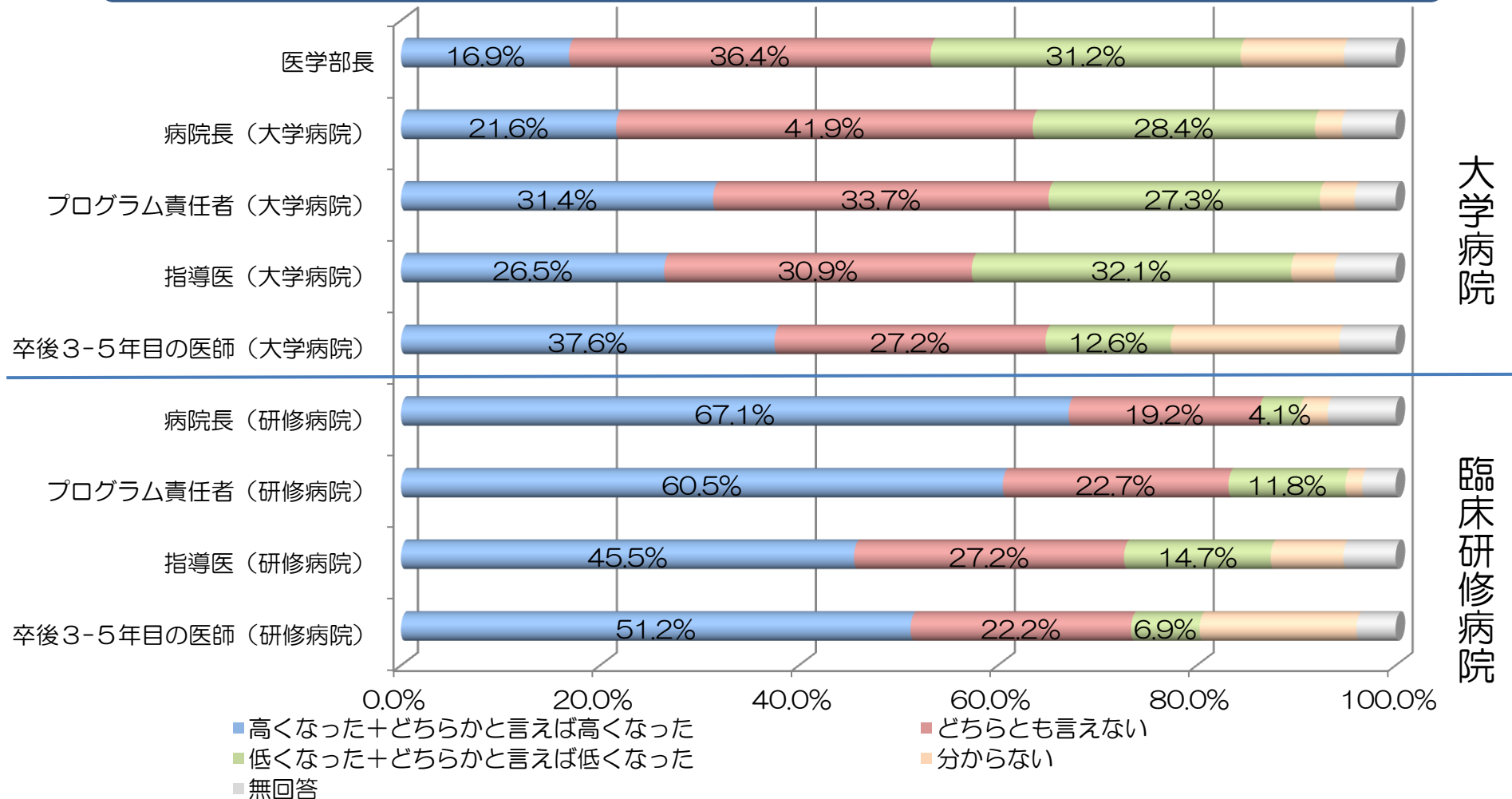
設問) 各診療科(地域保健・医療研修)における臨床研修が「現在までに役に立ったか」
選択肢)

「1点)全く役立たなかった～2点)役立たなかった～3点)どちらとも言えない～4点)役立った～5点)大いに役立った」

臨床研修制度導入による総合的診療能力の変化

資料
3

○臨床研修医の総合的診療能力の評価は、臨床研修病院では高くなったという評価が多い。



設問:「制度導入により、初期研修を修了した医師の総合的な診療能力は以前よりも高くなったと思いますか」

臨床研修に関するアンケート調査より(平成20年10月~11月にかけて、現場の医師・医学生・指導医等を対象として実施)

大学病院及び臨床研修病院それぞれ80施設に配布。(回収率64.4%、回収数10421人・配布数16192人)

厚生労働省医政局医事課臨床研修推進室

臨床研修前後での将来希望する診療科の変化(総括)

基本18診療域 一覧表(1)

資料
4-1

○研修前後で希望する診療科の変化はあるものの、他の世代の医師の診療科の状況も考慮する必要がある。

診療科	研修前※1		研修後※1		(参考)		
	人数	割合	人数	割合	30代前半※2	30代後半※2	全医師※2
内科系※3	1829	34.9%	1674	31.9%	32.5%	34.5%	37.7%
外科系※4	613	11.7%	604	11.5%	10.8%	11.5%	10.1%
小児科	546	10.4%	417	8.0%	6.6%	5.4%	5.6%
産婦人科※5	338	6.4%	295	5.6%	4.2%	4.2%	4.4%
麻酔科	181	3.5%	311	5.9%	4.4%	3.3%	2.6%
救急	103	2.0%	131	2.5%	1.4%	1.2%	0.7%
精神科	218	4.2%	262	5.0%	5.3%	5.5%	5.0%

※1…アンケート回答総数(5244名)に対する割合 ※2…全医師に対する割合(平成20年医師・歯科医師・薬剤師調査)

※3…内科系(内科、腎内、血内、糖尿病、循内、消内、神内、アレルギー、リウマチ、感染症、心療内科)

※4…外科系(外科、消化器外科、乳腺外科、呼吸器外科、心臓血管外科、気管食道外科、肛門外科、小児外科)

※5…産婦人科(産婦人科、産科、婦人科)

平成22年臨床研修修了者アンケート調査より (厚生労働省医政局医事課医師臨床研修推進室 調べ)
臨床研修を平成22年3月に修了する全国の研修医を対象に、同年3月に調査。[回収数/対象数=5250/7512(69.9%)]

臨床研修前後での将来希望する診療科の変化(総括)

基本18診療域 一覧表(2)

○研修前後で希望する診療科の変化はあるものの、他の世代の医師の診療科の状況も考慮する必要がある。

診療科	研修前※1		研修後※1		(参考)		
	人数	割合	人数	割合	30代前半※2	30代後半※2	全医師※2
皮膚科	126	2.4%	134	2.6%	3.4%	3.1%	3.0%
整形外科	321	6.1%	321	6.1%	7.0%	8.0%	7.1%
眼科	120	2.3%	158	3.0%	4.4%	5.9%	4.6%
耳鼻咽喉科	114	2.2%	138	2.6%	3.0%	3.5%	4.6%
泌尿器科	86	1.6%	117	2.2%	2.7%	2.8%	2.3%
脳神経外科	140	2.7%	138	2.6%	2.6%	2.7%	2.4%
放射線科	113	2.2%	185	3.5%	2.6%	2.8%	1.9%
病理診断	27	0.5%	37	0.7%	0.5%	0.6%	0.5%
形成外科	72	1.4%	69	1.3%	1.7%	1.0%	0.8%
リハビリ	11	0.2%	11	0.2%	0.6%	0.8%	0.7%

※1・アンケート回収総数(5244名)に対する割合 ※2・診療に従事する全医師数に対する割合(平成20年三師調査)

平成22年臨床研修修了者アンケート調査より(厚生労働省医政局医事課医師臨床研修推進室 調べ)
臨床研修を平成22年3月に修了する全国の研修医を対象に同年3月に調査。{回収数/対象数=5250/7512(69.9%)}

臨床研修前後での将来希望する診療科の変化(総括)

必修7診療科 男女別

資料
4-1

○臨床研修後、女性医師は外科や救急で増加し、内科・小児科・産婦人科では減少している。

診療科	研修前				研修後			
	合計 (再掲)	男性	女性	無回答	合計 (再掲)	男性	女性	無回答
内科系	1829	1134	590	105	1674	1047	528	99
外科系	613	492	90	31	604	456	118	30
小児科	546	278	245	23	417	211	182	24
産婦人科	338	105	218	15	295	101	178	16
麻酔科	181	81	93	7	311	134	164	13
救急	103	86	14	3	131	97	28	6
精神科	218	129	77	12	262	165	83	14

平成22年臨床研修修了者アンケート調査より (厚生労働省医政局医事課医師臨床研修推進室 調べ)
臨床研修を平成22年3月に修了する全国の研修医を対象に同年3月に調査。{回収数/対象数=5250/7512(69.9%)}

臨床研修後に将来希望する診療科(総括)

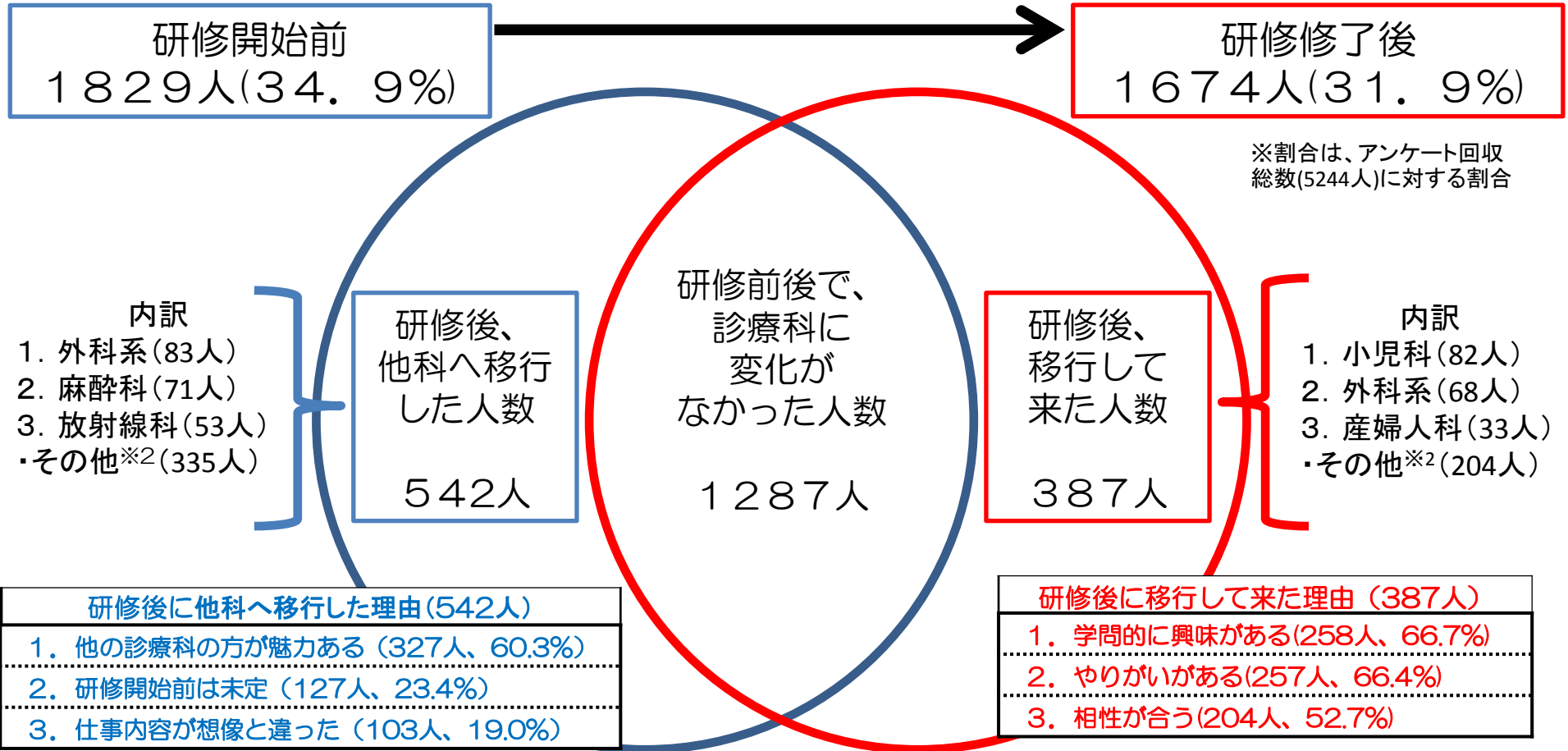
基本18診療域(研修を行った病院別)

- 臨床研修病院で臨床研修を受けた医師は、産婦人科・小児科・外科を希望する割合が高い。
- 大学病院で臨床研修を受けた医師は、精神科・皮膚科・耳鼻咽喉科などを希望する割合が高い。

将来希望する 診療科	大学病院		臨床研修病院	
	合計	割合	合計	割合
内科系	836	34.2%	821	29.5%
外科系	253	10.4%	351	12.6%
小児科	164	6.7%	253	9.1%
産婦人科	123	5.0%	172	6.2%
麻酔科	142	5.8%	169	6.1%
救急	63	2.6%	68	2.4%
精神科	142	5.8%	120	4.3%
皮膚科	71	2.9%	63	2.3%
整形外科	144	5.9%	177	6.4%
眼科	75	3.1%	83	3.0%
耳鼻咽喉科	83	3.4%	55	2.0%
泌尿器科	53	2.2%	64	2.3%
脳神経外科	54	2.2%	84	3.0%
放射線科	91	3.7%	94	3.4%
病理診断	19	0.8%	18	0.6%
形成外科	29	1.2%	40	1.4%
リハビリ	5	0.2%	6	0.2%

平成22年臨床研修修了者アンケート調査より (厚生労働省医政局医事課医師臨床研修推進室 調べ)
臨床研修を平成22年3月に修了する全国の研修医を同年対象に3月に調査。{回収数/対象数=5250/7512(69.9%)}

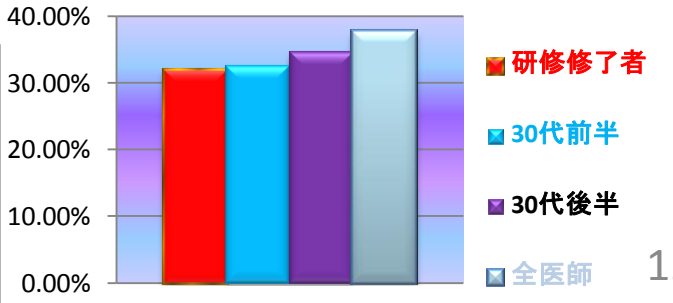
臨床研修前後での将来希望する診療科の変化 内科系*



※内科系・・・内科、腎内、血内、糖尿病、循内、消内、神内、アレルギー、リウマチ、感染症、心療内科

※2)その他・・・無記入含む

(参考)
内科系医師が、医療施設に従事する医師総数に占める割合→
平成20年 医師・歯科医師・薬剤師調査



臨床研修前後での将来希望する診療科の変化 外科系※

研修開始前
613人(11.7%)

研修修了後
604人(11.5%)

※割合は、アンケート回収
総数(5244人)に対する割合

- 内訳
- 1. 内科系(68人)
 - 2. 整形外科(27人)
 - 3. 救急(20人)
 - ・その他※2(97人)

研修後、
他科へ移行
した人数
212人

研修前後で、
診療科に
変化が
なかった人数
401人

研修後、
移行して
来た人数
203人

- 内訳
- 1. 内科系(83人)
 - 2. 産婦人科(18人)
 - 2. 小児科(18人)
 - ・その他※2(84人)

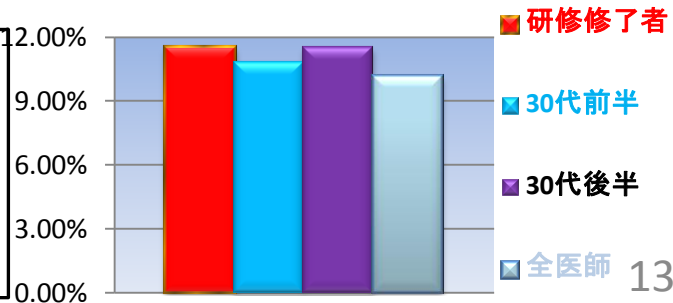
研修後に他科へ移行した理由(212人)

1. 他の診療科の方が魅力がある(133人、62.7%)
2. 体力的にきつい(53人、25.0%)
3. 拘束時間が長い(37人、17.5%)

研修後に移行して来た理由(203人)

1. やりがいがある(161人、79.3%)
2. 相性が合う(112人、55.2%)
3. 学問的に興味がある(103人、50.7%)

(参考)
外科系医師が医療施設
に従事する医師総数に
占める割合→
平成20年 医師・歯
科医師・薬剤師調査



※外科系・・・外科、消化器外科、乳腺外科呼吸器外科、
心臓血管外科、気管食道外科、肛門外科、小児外科)
※2)その他・・・無記入含む

臨床研修前後での将来希望する診療科の変化 小児科

研修開始前
546人(10.4%)

研修修了後
417人(8.0%)

※割合は、アンケート回収総数(5244人)に対する割合

- 内訳
- 1. 内科系(81人)
 - 2. 麻酔科(22人)
 - 3. 外科系(18人)
 - ・その他※(82人)

研修後、
他科へ移行
した人数
203人

研修前後で、
診療科に
変化が
なかった人数
343人

研修後、
移行して
来た人数
74人

- 内訳
- 1. 内科系(35人)
 - 2. 産婦人科(13人)
 - 3. 整形外科(7人)
 - ・その他※(19人)

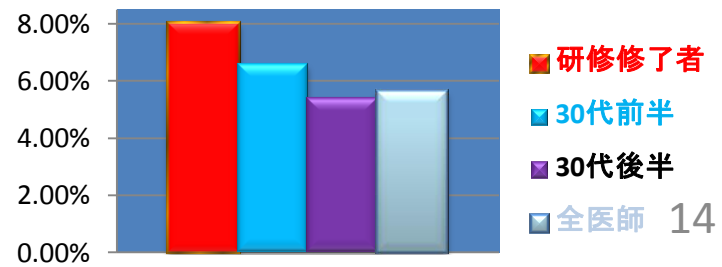
研修後に他科へ移行した理由 (203人)

1. 他の診療科の方が魅力がある(145人、71.4%)
2. 相性が合わない(45人、22.2%)
3. 内容が想像と違った(36人、17.7%)

研修後に移行して来た理由 (74人)

1. やりがいがある(61人、86.5%)
2. 相性が合う(41人、55.4%)
3. 学問的に興味がある(29人、39.2%)

(参考)
小児科医が医療施設に
従事する医師総数に占
める割合→
平成20年 医師・歯
科医師・薬剤師調査



※その他・・・無記入含む

臨床研修前後での将来希望する診療科の変化 産婦人科

研修開始前
338人(6.4%)

研修修了後
295人(5.6%)

※割合は、アンケート回収総数(5244人)に対する割合

- 内訳
- 1. 内科系(33人)
 - 2. 麻酔科(19人)
 - 3. 外科系(18人)
 - ・その他※²(52人)

研修後、
他科へ移行
した人数
122人

研修前後で、
診療科に
変化が
なかった人数
216人

研修後、
移行して
来た人数
79人

- 内訳
- 1. 内科系(29人)
 - 2. 小児科(15人)
 - 3. 整形外科(6人)
 - ・その他※²(29人)

研修後に他科へ移行した理由(122人)

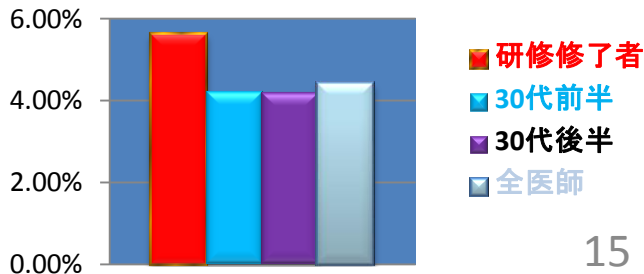
- 1. 他の診療科の方が魅力がある(94人、77.0%)
- 2. 相性が合わない(29人、23.8%)
- 3. 体力的にきつい(27人、22.1%)

研修後に移行して来た理由(79人)

- 1. やりがいがある(66人、83.5%)
- 2. 学問的に興味がある(52人、65.8%)
- 3. 相性が合う(46人、58.2%)

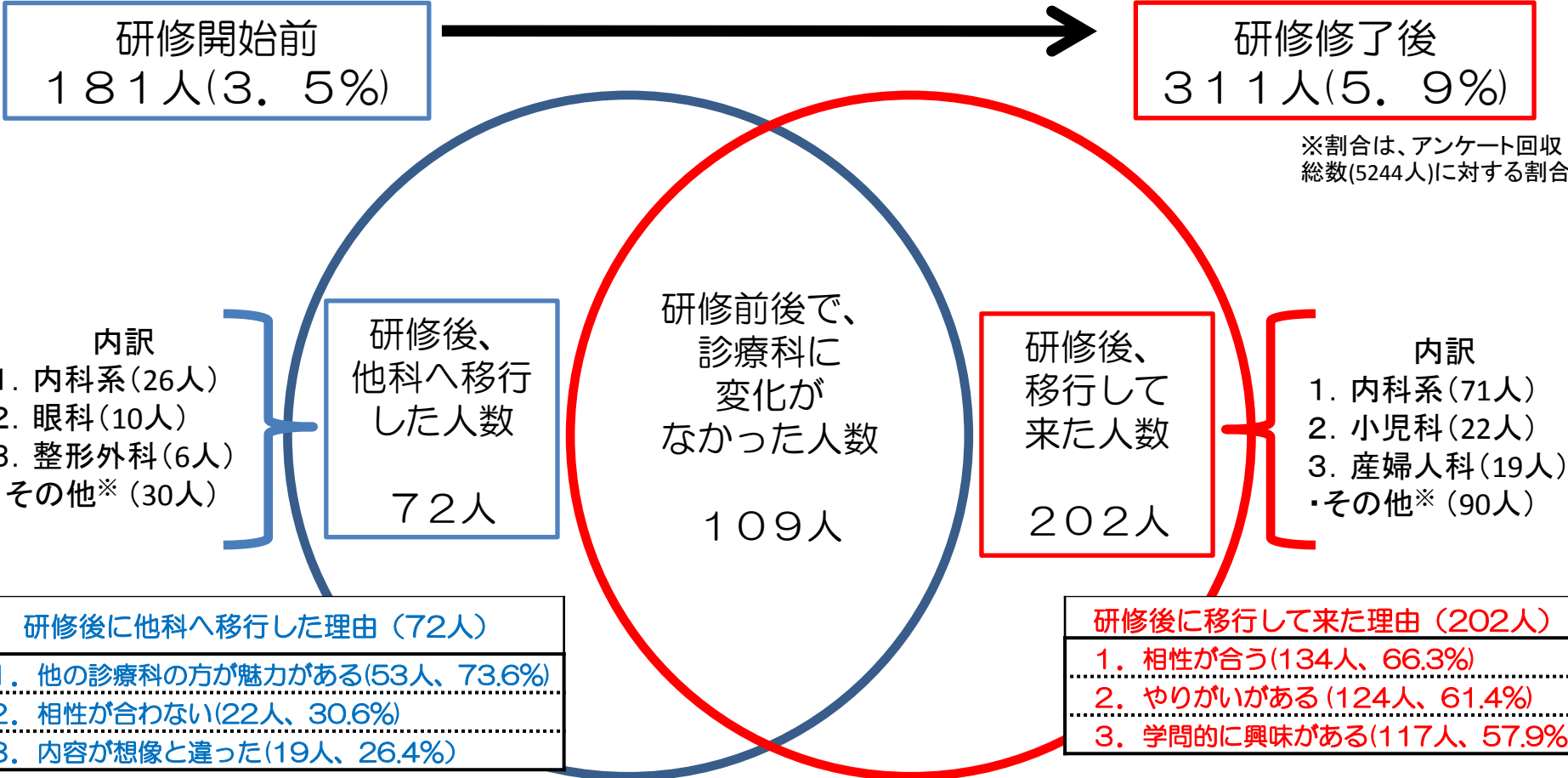
(参考)
産婦人科医が医療施設
に従事する医師総数に
占める割合→

平成20年 医師・歯
科医師・薬剤師調査

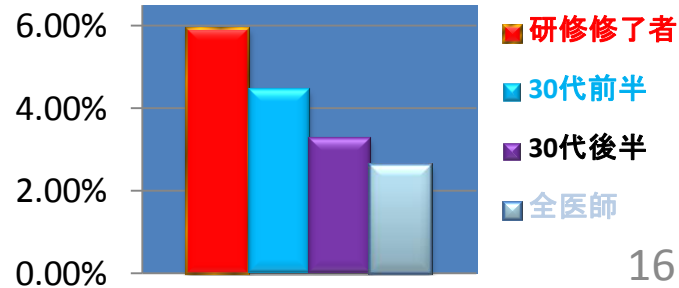


※産婦人科・・・産婦人科、産科、婦人科
※2)その他・・・無記入含む

臨床研修前後での将来希望する診療科の変化 麻酔科

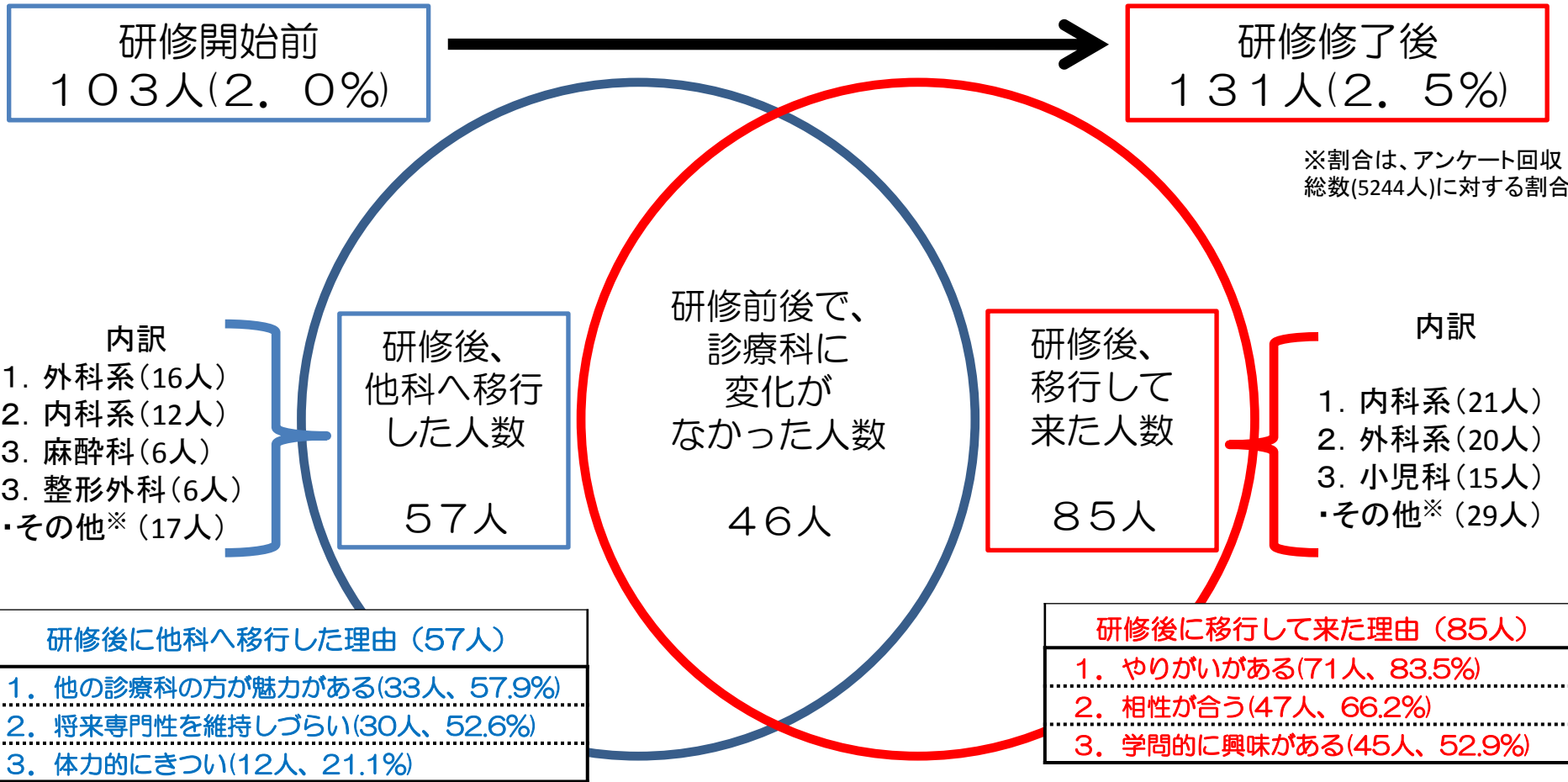


(参考)
麻酔科医が医療施設に
従事する医師総数に占める割合→
平成20年 医師・歯科医師・薬剤師調査

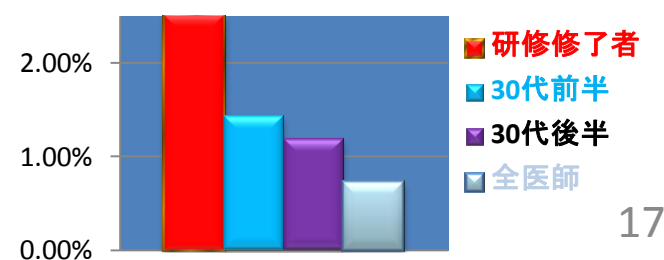


※その他・・・無記入含む

臨床研修前後での将来希望する診療科の変化 救急

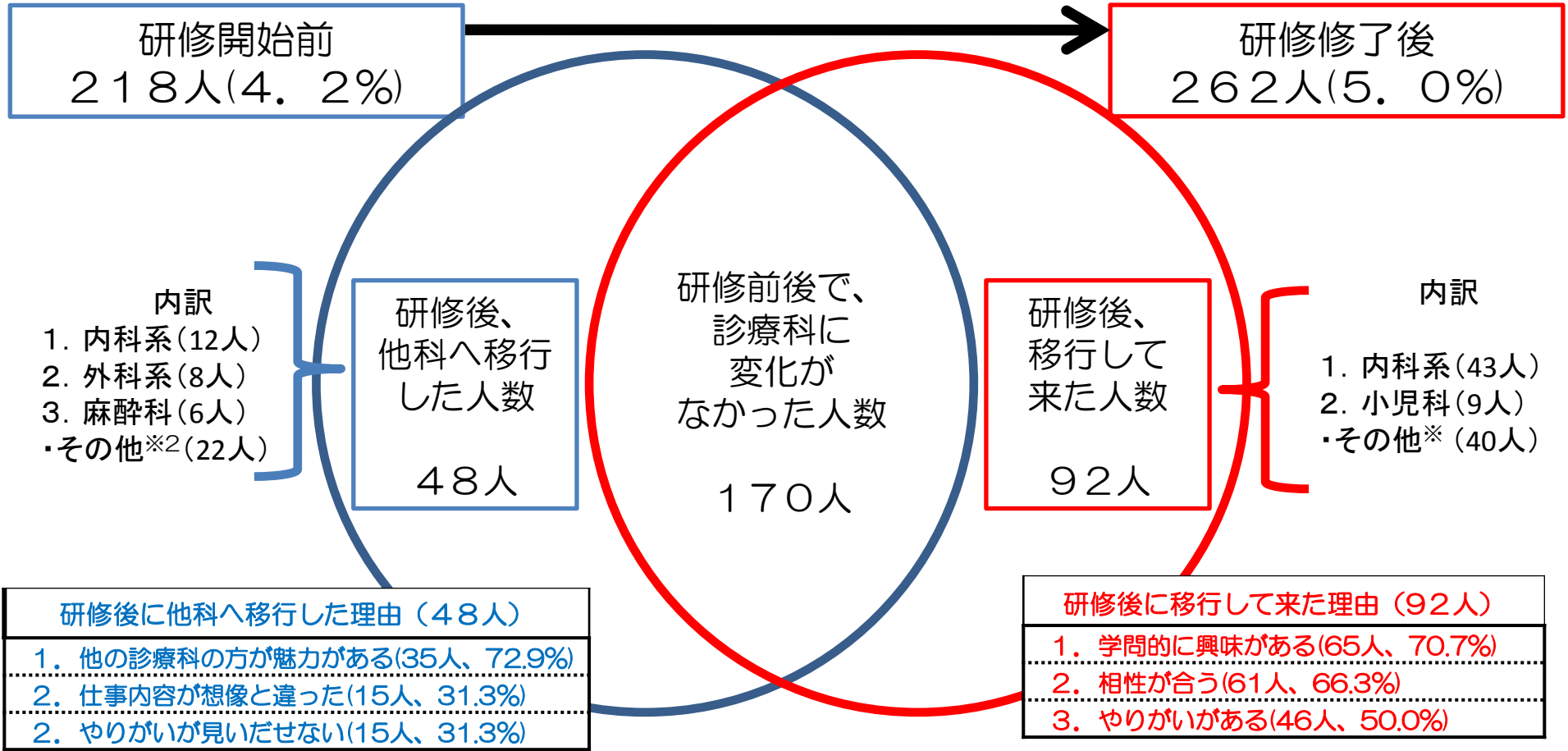


(参考)
救急医が医療施設に従事する医師総数に占める割合→
平成20年 医師・歯科医師・薬剤師調査



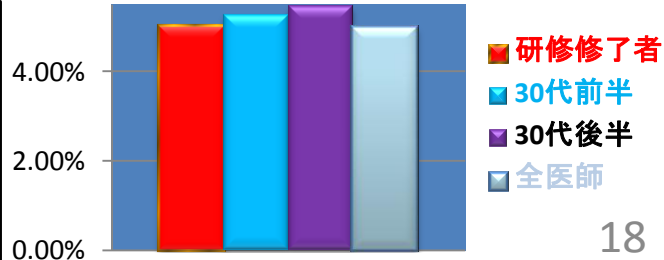
※その他...無記入含む

臨床研修前後での将来希望する診療科の変化 精神科



(参考)
精神科医が医療施設に
従事する医師総数に占
める割合→

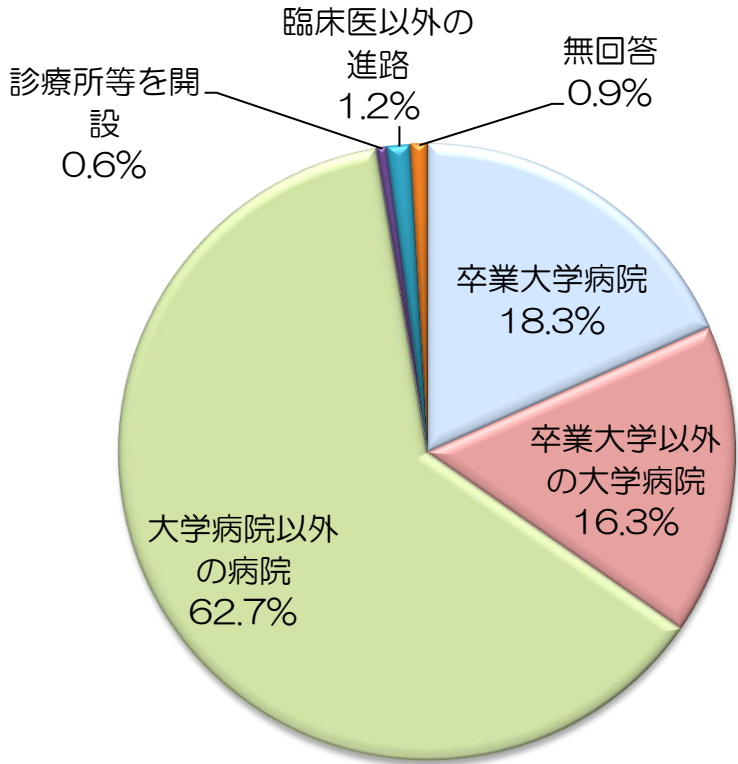
平成20年 医師・歯
科医師・薬剤師調査



※その他・・・無記入含む

研修後に勤務する病院等の種別

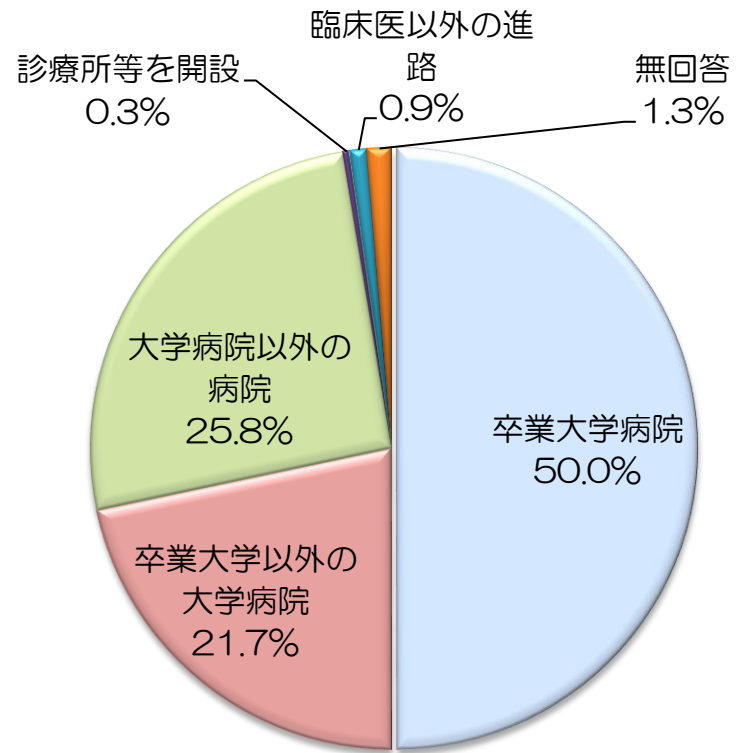
○研修後に勤務する病院の種別は、研修を受けた病院と同じである傾向がうかがえる。



臨床研修病院で研修した医師 (合計2791人)

○研修後に勤務を希望する病院を選んだ理由

- ① 優れた指導者がいる(51.6%)
- ② 専門医取得につながる(41.7%)
- ③ 病院の設備・施設が充実している(36.2%)



大学病院で研修した医師 (合計2447人)

○研修後に勤務を希望する病院を選んだ理由

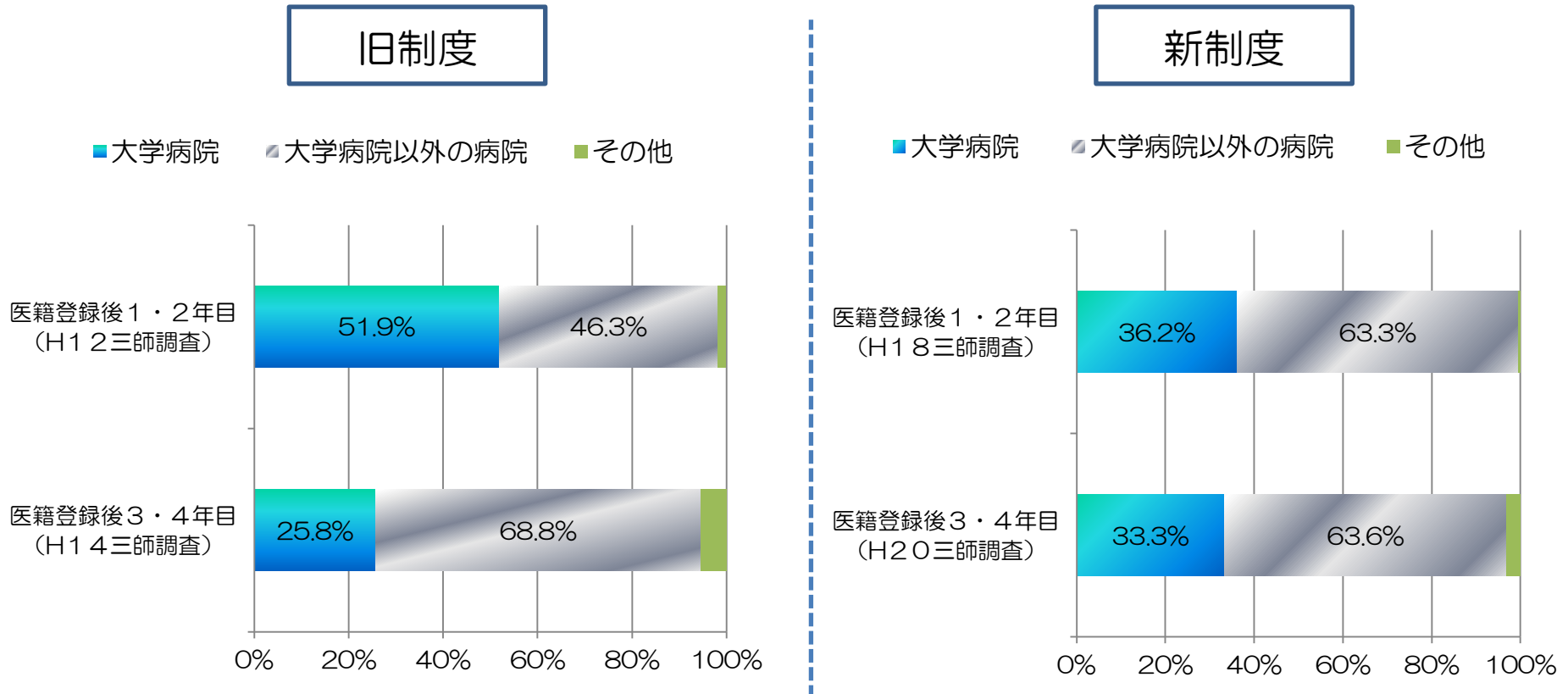
- ① 臨床研修を受けた病院(42.2%)
- ② 優れた指導者がいる(41.8%)
- ③ 出身大学である(38.5%)

研修前後での勤務する病院の種別（新旧制度別）

資料
4-2

○制度導入前後で

卒後概ね1・2年目の医師については、大学病院で従事する割合が減少した。
卒後概ね3・4年目の医師については、大学病院で従事する割合が増加した。



・旧制度・・・H11/12年に医籍登録した医師（H12/H14三師調査を用いて集計）

・新制度・・・H17/18年に医籍登録した医師（H18/H20三師調査を用いて集計）

医局への入局状況(研修病院別)

○研修した病院に関わらず、医局への入局割合は旧制度の方が高い。

医局への入局状況	臨床研修を行った病院(新旧制度別)					
	大学病院		臨床研修病院		合計	
	旧制度	新制度	旧制度	新制度	旧制度	新制度
入局している	416	313	77	217	493	530
入局していない	16	24	18	135	34	159
無回答	1	2			1	2
合計	433	339	95	352	528	691
医局への入局割合	96.1%	92.3%	81.1%	61.6%	93.4%	76.7%

・新旧制度それぞれの制度で研修を行った医師に、「大学の医局に入局しているか」どうか質問。

※旧制度・・・平成13～15年卒業、 新制度・・・平成16～19年卒業

学位の取得状況(新旧制度の別)

○旧制度で臨床研修を実施した医師の方が、学位の取得している・取得を希望する割合が多い。
※対象とした医師の卒業後経過年数が異なり、結果の解釈には注意が必要。

学位の取得状況	新旧制度の別			
	旧制度	新制度	無回答	合計
01学位を持っている(A)	157	17		174
02学位を持っていない				
学位の取得を目指している(B)	175	274		449
学位の取得を目指していない	192	398	1	591
無回答	2	4		6
03無回答	4		2	6
合計(C)	530	693	3	1,226
「学位を持っている」、又は「取得を目指している」の全体に占める割合 = $(A+B) \div C$	62.6%	42.0%	0%	50.8%

・臨床研修を行った制度別に、「学位を持っているかどうか」質問。「持っていない」と答えた医師に対しては、「今後、学位の取得を希望するかどうか」質問。
※旧制度・・・平成13～15年卒業、新制度・・・平成16～19年卒業